幕張新都心モビリティコンソーシアム
中間まとめ報告会

2024年10月3日

本日の次第

	次第	発表者	時間
14:00-	**1　開会（事務局）**	事務局（千葉市）	3分
14:03-	**2　議題**		
	（1）PTの進捗報告		
	自動運転バス社会実装PT 巡回バス機能の向上による回遊性向上PT	損害保険ジャパン（株）　様	10分
	（2）各社の取り組み紹介		
	①　交通に関する人流分析・意識調査の取り組み	ジオテクノロジーズ（株）　様	15分
	②　モビリティビジネス専門センターのご紹介	（株）TMJ　様	15分
	③　幕張ベイ・グリスロプラス 2023年度までの活動内容と2024年度の活動計画の紹介	幕張ベイタウン自治会連合会　様	15分
	（3）2024年度千葉市事業	事務局（千葉市）	15分
15:13	**3　連絡事項**	事務局（千葉市）	7分
15:20	**閉会**		

（1）PTの進捗報告

幕張新都心モビリティコンソーシアムPT進捗報告

自動運転バスによる回遊性向上PT

発表者：損害保険ジャパン株式会社

提出年月日：令和6年10月3日

PT概要・体制

ＰＴ名	自動運転バスによる回遊性向上　PT
体制及び メンバー	＜リーダー＞ アイサンテクノロジー株式会社、イオンモール株式会社、損害保険ジャパン株式会社、 ＜構成員＞ イオンコンパス株式会社、イオンリテール株式会社、京成バス株式会社、 株式会社建設技術研究所、株式会社東海理化、株式会社ティアフォー、 株式会社幕張メッセ、湯楽の里　　（50音順）
目的	✓ 自動運転バスを社会実装し、**幕張新都心エリアの回遊性向上**を実現すること
実施内容	✓ エリア内の周遊バス（既存のイオンモール幕張新都心への巡回バス想定）の自動運転化の社会実装を目指し、コンソーシアムメンバーの役割分担、ルート検証、技術的検証、コスト検証、事業性検証を行う。 ✓ 来年度以降の社会実験の実施、及び、その後の実装化を具体的検討を行う。
期待効果	✓ まちの賑わい、回遊性の向上 ✓ 都市部における自動運転バスの成功モデル化

PTで議論したこと

走行するルート

- 町別人口、来場者人口の状況確認
- 既存の買い物バスとの兼ね合い検討（1便増やすか代替便とするか　など）
- 公共性の有無
- 住民の利便性を優先したルートか？自動運転バスが走行しやすいルートか？

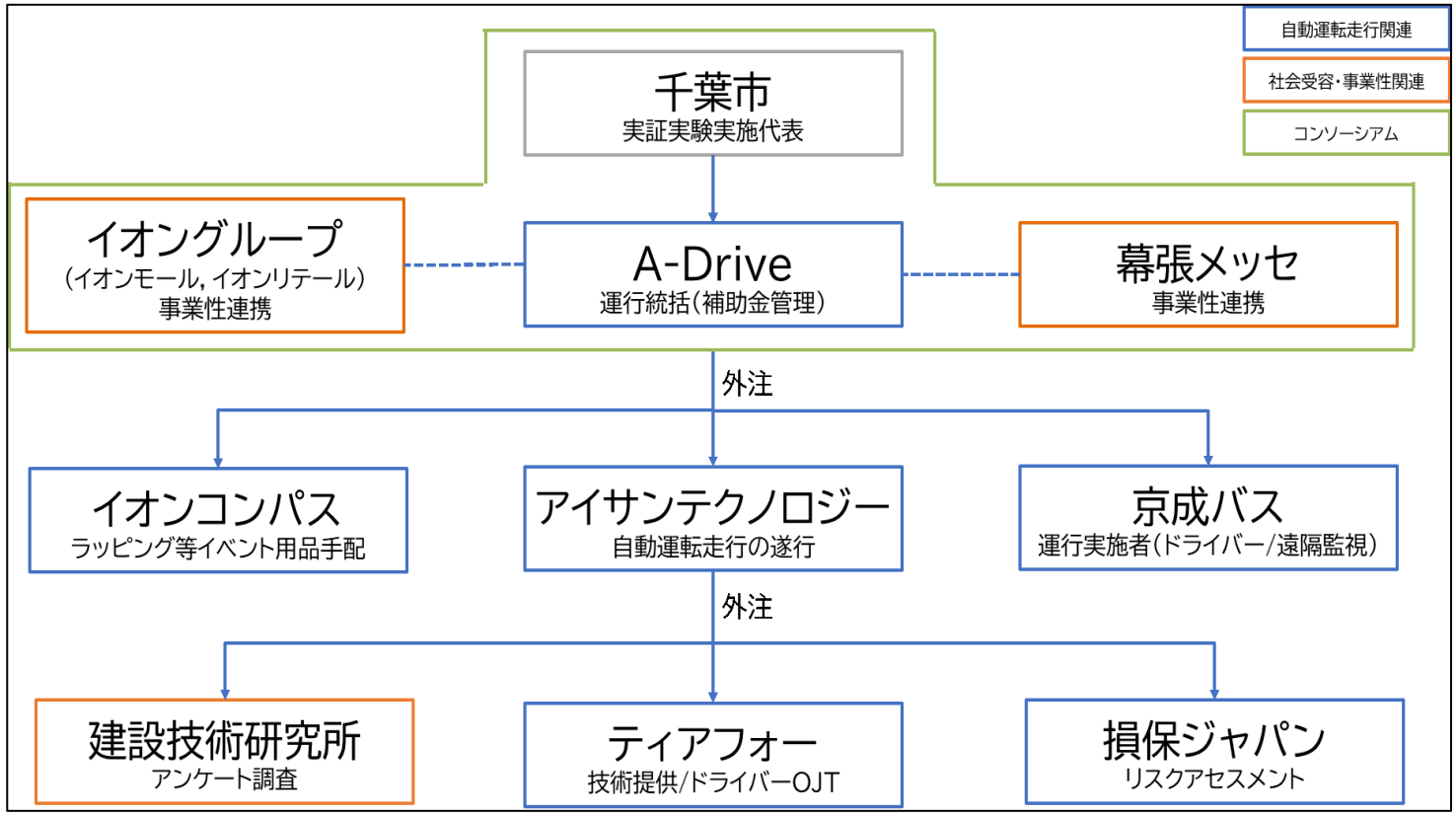
運営の座組

- バスの保有者（事業者側・千葉市・一般社団立ち上げ）
- ランニングコスト・メンテナンスコストの負担

運営コスト

- イニシャルコスト、ランニングコストの具体的試算と補助金併用の資金調達手段

公募への応募メンバー



公募結果と方向性

- 2024年5月地域公共交通確保維持改善事業費補助金へ応募　⇒　結果は不採択
- 継続は難しいと判断し、モビリティコンソーシアムでの検討を中止

過去の説明資料

PT実施概要

令和５年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

第〇回PT 実施日	● 令和5年11月13日実施　＠オンライン又は千葉市役所会議室
アジェンダ	1. ルートについての協議 2. 実装を前提とした実証実験の概要検討
主な検討 内容	1.ルート協議 ・幕張新都心エリアの回遊性の向上、 まちの賑わいを意識し検討 ・幕張メッセ等への来場者を対象とした 「①来街者ルート」と地域住民を対象とした 「②住民ターゲットルート」の2軸で検討 2.実証実験の概要検討 ・運行時期 ・運行計画

PT実施概要

令和５年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

第〇回PT 実施日	● 令和5年12月8日実施　＠オンライン又は千葉市役所会議室
アジェンダ	1. ルートについての協議(前回の続き） 2. 実装を前提とした実証実験の概要検討（前回の続き）
主な検討 内容	1.ルート協議 ・ルートの決定 ・曜日に応じて、来街者ルート・住民ルートの両方を走行することで仮決定 2.実証実験の概要検討 ・運行時期および運行計画の決定 ・実証実験にかかるコスト試算

PT実施概要

令和５年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

第〇回PT 実施日	● 令和5年1月25日実施　＠オンライン又は千葉市役所会議室
アジェンダ	1. 実証実験にかかる概算コスト算出 2. 今後の実装の方向性検討
主な検討 内容	1.概算コスト算出 2.今後の方向性の検討 ・補助金申請シナリオについてPTメンバーの意見を確認。 ・座組についても同様に意向を確認。 ・実装に向けたシナリオについて協議。

PTでの検討内容

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

１．概要

・社会実装を前提したルートでの走行検証をおこなう。
・検証する視点は、①ニーズ、②事業性、③技術面、④安全面の４つ。
・事業性については、KPIを設定し、一定期間の走行結果を検証、
　事業として成り立つかどうかの見極めをおこなう。

２．スケジュールおよび、運行時間、費用

実証期間：2024年11月～12月に走行予定
　　（11月中旬～12月中旬の1か月ほどの期間で走行する）

運行計画：水・木・金（幕張メッセのイベント開催時）は、来街者ルートを走行
　　土・日・月・火は、住民ルートを走行

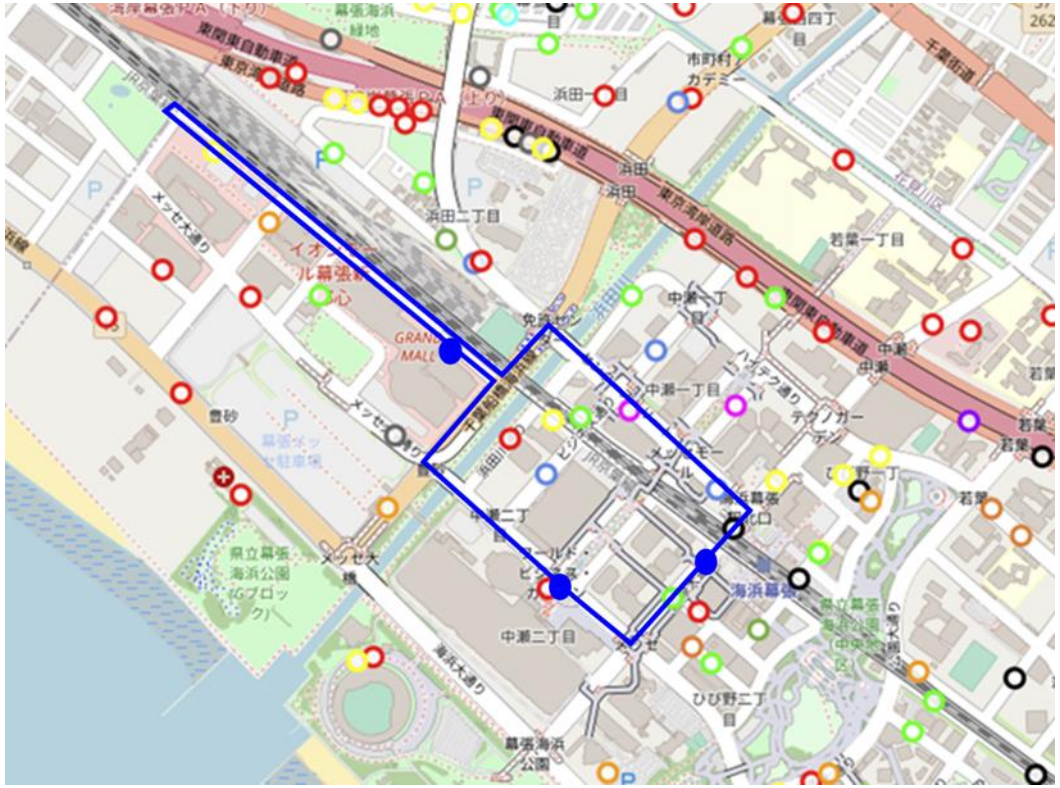
運行本数：要検討

費用　　：国土交通省　地域交通確保維持改善事業補助金を申請予定

PTでの検討内容

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

３．ルート（来街者ターゲットルート）



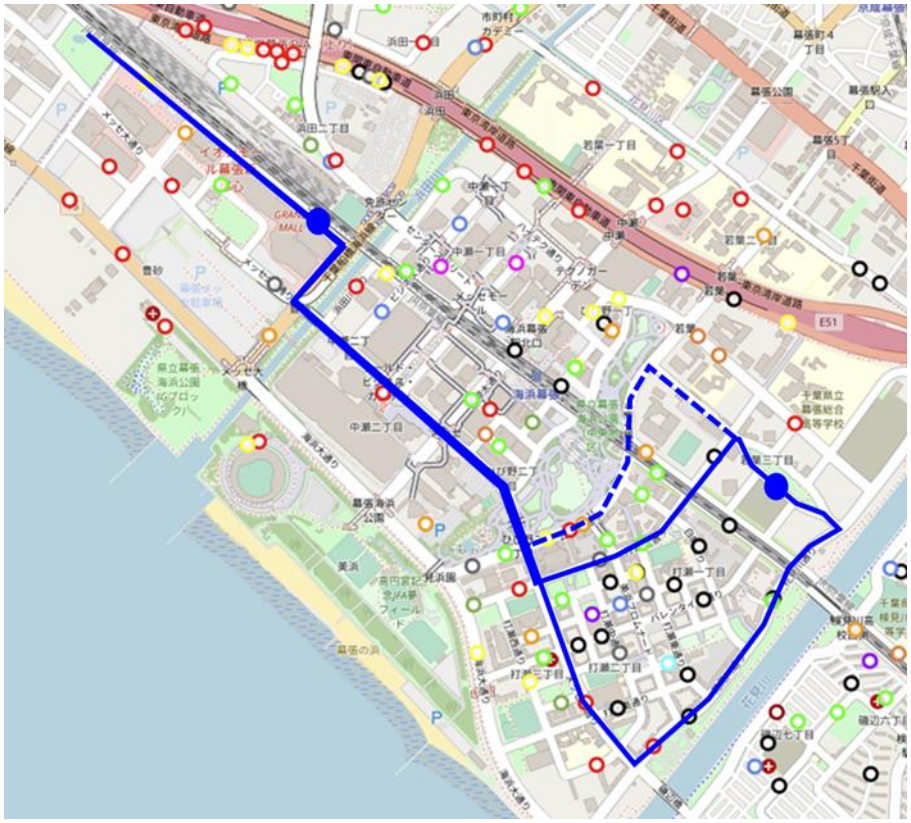
- 幕張新都心モビリティコンソーシアムの設立目的である、新都心エリアの回遊性・まちの賑わいを意識し、幕張メッセ等のイベントでの来街者がイオンモール等の周辺施設へ立ち寄ることが狙い。
- また、検討にあたっては、過去千葉市調査事業にて実施した、海側かつ来街者をターゲットとすることが経済的合理性が高いという調査結果に基づき検討した。

幕張豊砂駅　発⇒イオンモール幕張新都心⇒プレナ前⇒幕張メッセ⇒イオンモール幕張新都心⇒幕張豊砂駅　着

PTでの検討内容

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

３．ルート（住民ターゲットルート）



- 幕張新都心モビリティコンソーシアムの設立目的である、新都心エリアの回遊性・まちの賑わいを意識しつつも、地域の住民の方に受け入れられる必要があるルートとする必要があり、イオンお買い物バスルートを想定した住民向けルートを設定。

- なお、来街者と地域住民が混合して乗車をすることは地域住民側のストレスとなる可能性もあり、運行する曜日を分けることとした。

幕張豊砂駅　発⇒イオンモール幕張新都心
⇒ベイタウン・ベイパーク⇒イオンモール幕張新都心⇒幕張豊砂駅　着

スケジュール

2023年12月末

- 実装ルート、運営の座組、詳細のコストシュミレーションを確定

2023年度末

- 上記を踏まえた、実証実験・検証方法の確定
- ルート調査、データ取得

2024年度

- 実証実験の実施（秋ごろ）
- 検証、具体的な運航計画の確定

2025年度

- テスト走行
- 実走行

（2）各社の取り組み紹介

取組み事例

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み

ジオテクノロジーズ株式会社

令和6年10月　3日

ジオテクノロジーズについて

GeoTechnologies, Inc.

会社名	ジオテクノロジーズ株式会社
設立	1994年 5月 1日
本社所在地	東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 22F
代表	代表取締役社長 CEO 八剱 洋一郎
社員数	496名（2024年4月1日現在）
測量業者登録番号	登録第（1） -36501号
参加団体	LBMA Japan /オルタナティブデータ推進協議会 日本デジタル道路地図協会 / 地理情報システム学会 日本ブロックチェーン協会(JBA)

ジオテクノロジーズについて

Map Data

創業以来蓄積してきたビッグデータ

40億枚 画像データ	**1**億台以上 日本での携帯端末における採用累計台数	**8**億アイテム以上 地図構成データ
4500万件以上 住所データ	**720**万km 走行調査距離	**200**万km 道路ネットワーク
6180万件 建物データ	**640**万件 POIの数	**38**万km^2 都市地図総整備面積

ジオテクノロジーズについて

位置情報データ全般を扱う分野で技術開発しています

人流データ×AI
深層学習 渋滞予測モデル

全国道路画像×AI
歩道 安全性評価

地図データ×カーナビノウハウ
物流・配送 業務効率化

道路画像×AI画像処理
インフラ要補修箇所 評価

運転データ×道路データ
ドライバー安全運転評価

道路画像×AI標識認識
道路規制データ整備

行動データ×AI
需要予測

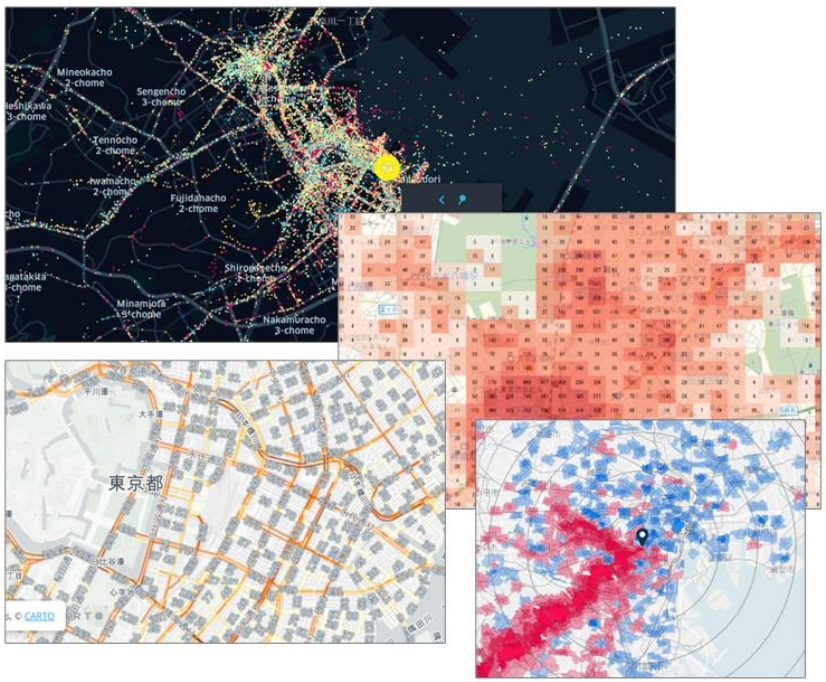
行動データ×デジマ
超精緻ターゲティング

行動データ×OOH
ハイスピード配信最適化

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

①人流プローブを活用した分析について

大規模人流データ、分析サービスを提供



人流分析

Geo-Research

場所 × 時間 × 属性で
アンケート収集

01 モニターの行動ログをもとに
位置情報スクリーニング

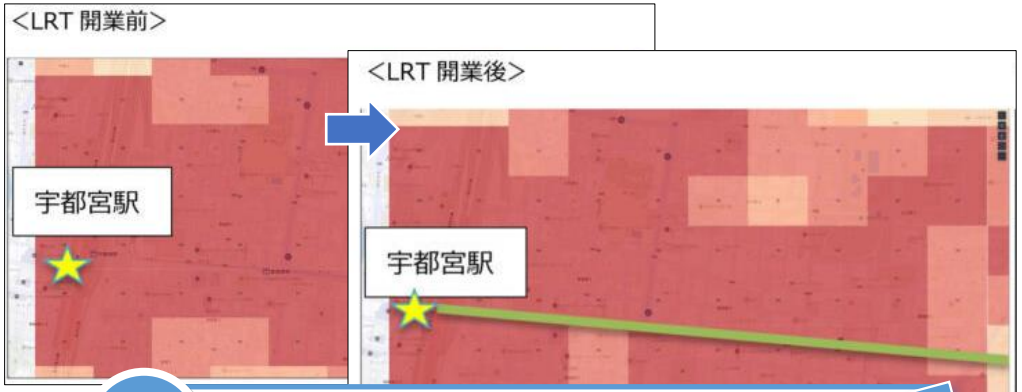
02 モニター600万人超
年代・エリアも偏りなし

03 驚異的なスピード
24時間で10万サンプルを回収

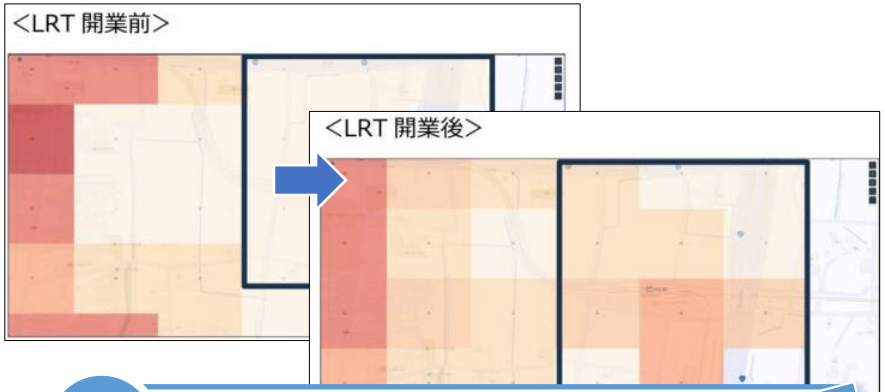
リサーチサービス

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

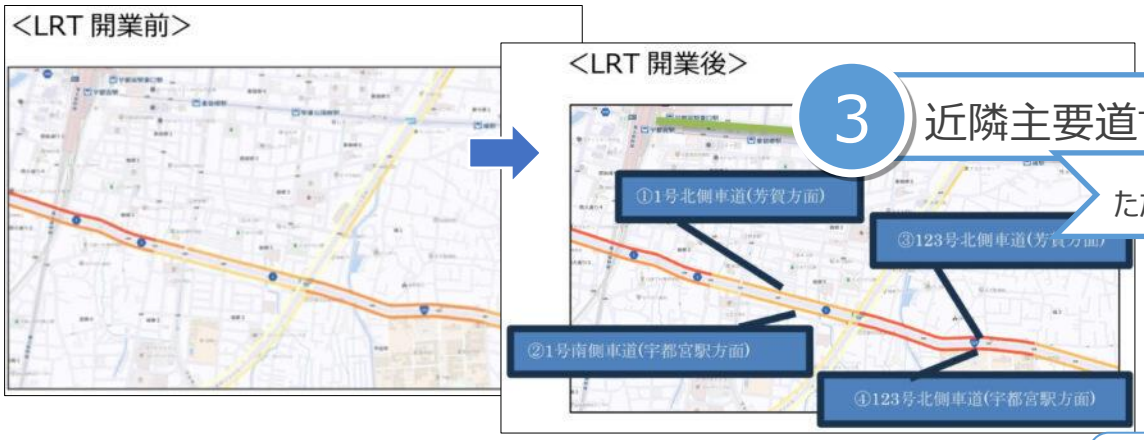
事例：栃木県LRT開業前後での、にぎわいの変化を分析



1 駅東口の滞在人口が最大250%up



2 LRT沿線で滞在人口が最大40倍



3 近隣主要道で自動車通行量が増加

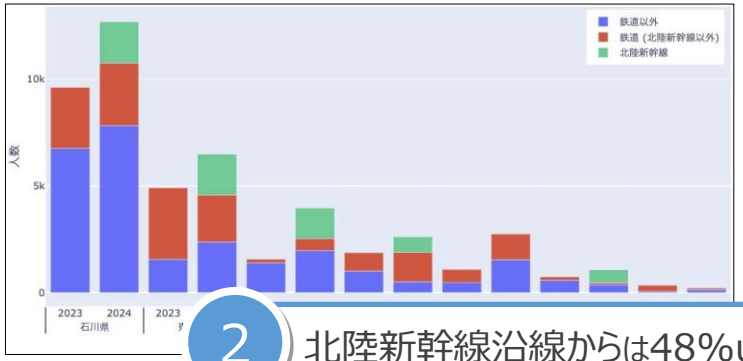
ただし、旅行速度の変化はなし

栃木県の「宇都宮LRT」開業後を人流調査
https://geot.jp/pressrelease-20231122/

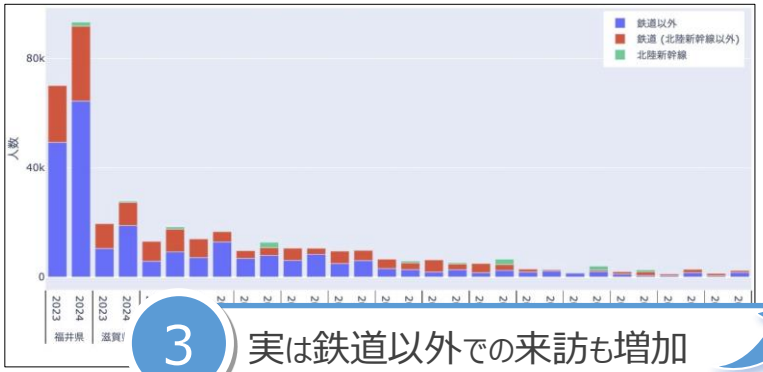
交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

事例：北陸新幹線 延伸前後での、「敦賀」の観光人流を分析

1 GWの来訪者（域外からの来訪）30%up



2 北陸新幹線沿線からは48%up



3 実は鉄道以外での来訪も増加

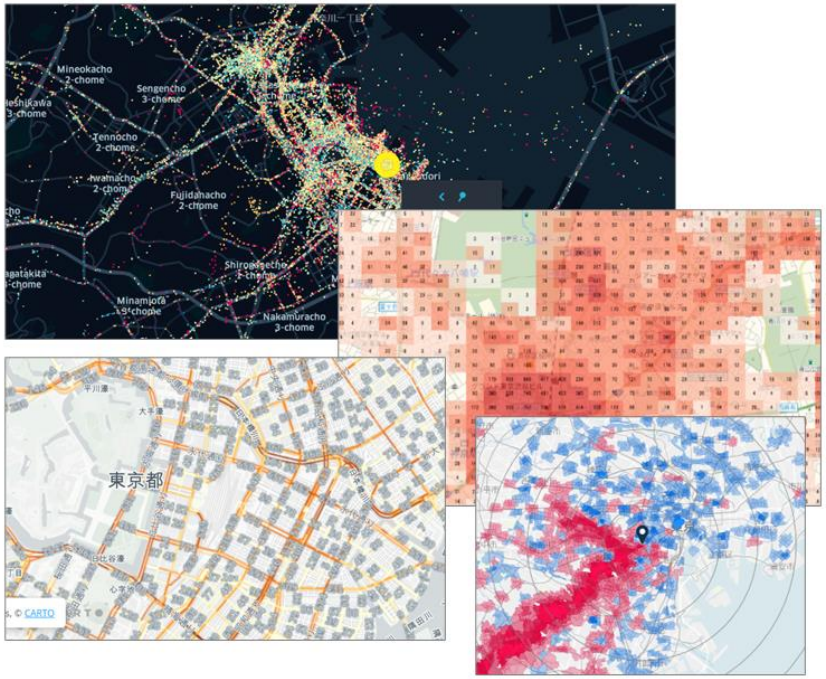
4 鉄道以外の来訪者は行動範囲が広い

北陸新幹線延伸後の終点「敦賀」の観光人流を調査
https://geot.jp/pressrelease-20240604/

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

②アンケートリサーチを活用した分析について

大規模人流データ、分析サービスを提供



人流分析

Geo-Research

場所 × 時間 × 属性で
アンケート収集

01 モニターの行動ログをもとに
位置情報スクリーニング

02 モニター600万人超
年代・エリアも偏りなし

03 驚異的なスピード
24時間で10万サンプルを回収

リサーチサービス

千葉市 CHIBA CITY 千葉開府 Road to 900 since 1126

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

②アンケートリサーチを活用した分析について

Geo-Research

人流と連動するリサーチ

全国600万SS
のベサンプル総数

24h以内に20万サンプル
以上を回収可能

全国40万人
メタバース意識調査

消費者インサイトを
可視化する大規模な
自主調査データを
複数保有

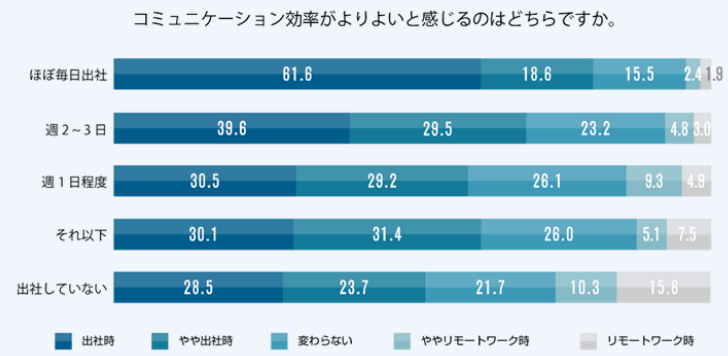
全国20万人
自動車意識調査

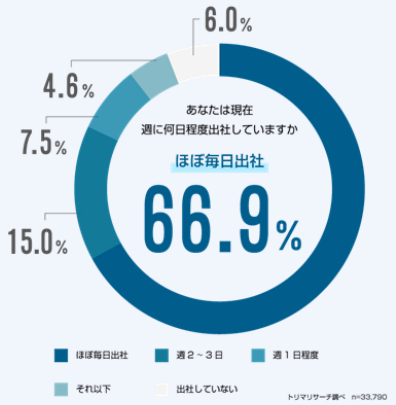
人流を活用した スクリーニング

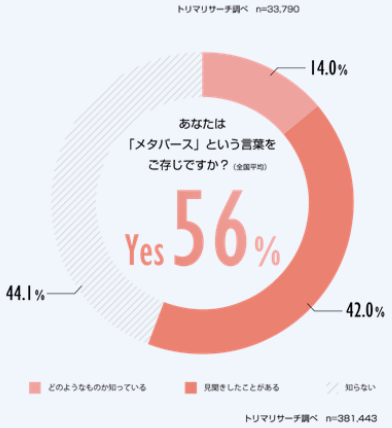
自店舗来店者/競合店来店者へ
特定の市区町村居住者へ
特定のイベント参加者へ

人流由来のデータ付与

特定の路線に何回乗車したか？
コンビニに年間何回行ったか？
自店と競合店の併用状況は？







交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

事例：愛・地球博記念公園に来訪したユーザを分析

調査対象

- 愛・地球博記念公園（愛知県長久手市）
  通称：モリコロパーク
- 話題のジブリパークを含むエリア
- 対象期間：2022年11月1日～15日

調査目的

- 人流データを使った分析と、トリマリサーチを活用
- 来訪ユーザーの属性、消費活動を分析
- **公園を活用した地域活性プロモーション施策の仮説作成**

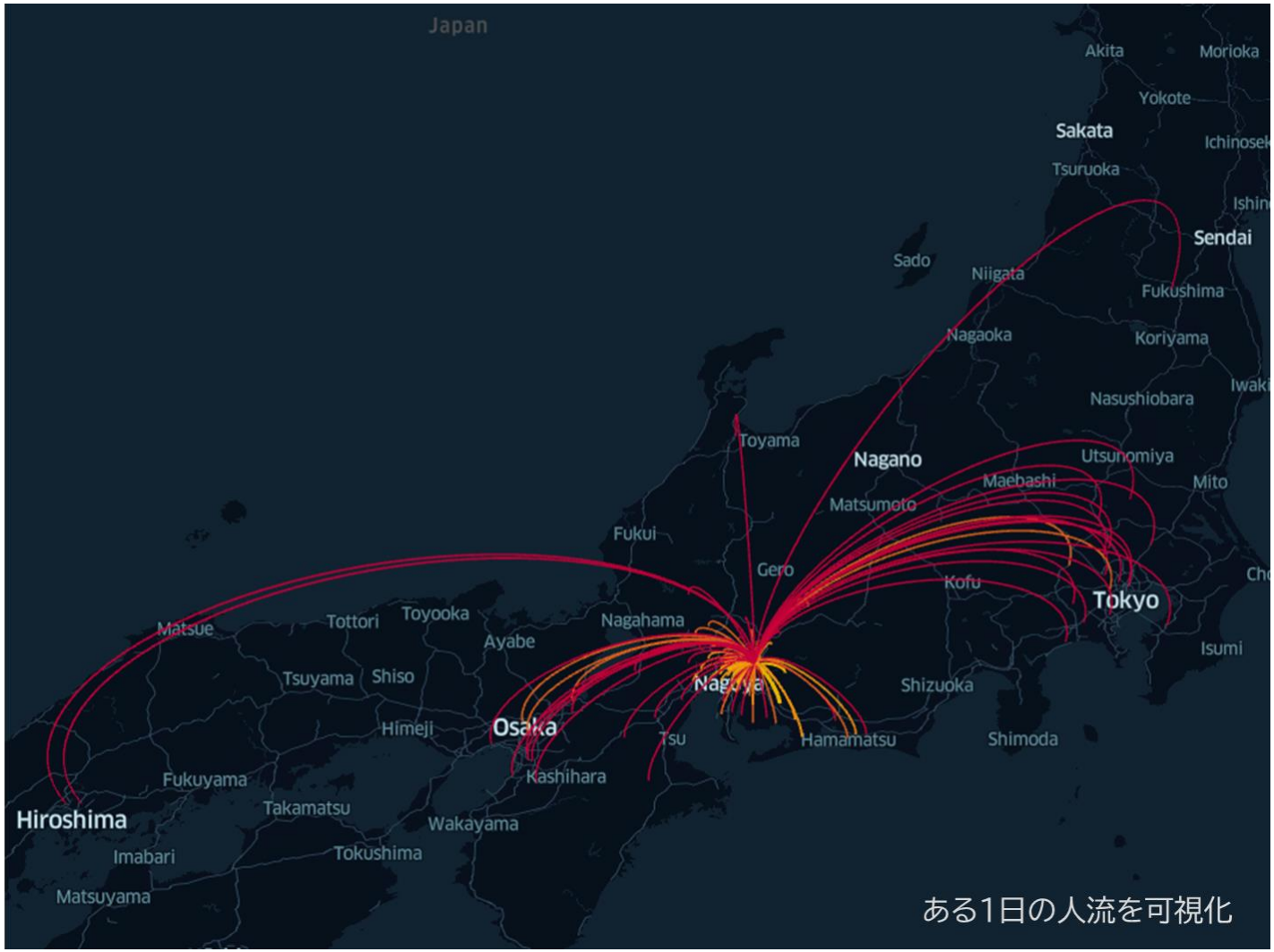
［愛・地球博記念公園］
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%84%9B%E3%83%BB%E5%9C%B0%E7%90%83%E5%8D%9A%E8%A8%98%E5%BF%B5%E5%85%AC%E5%9C%92

交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

事例：愛・地球博記念公園に来訪したユーザを分析

人流分析

2022年11月1日～15日の
約2週間で
来訪した人流データを分析



ある1日の人流を可視化

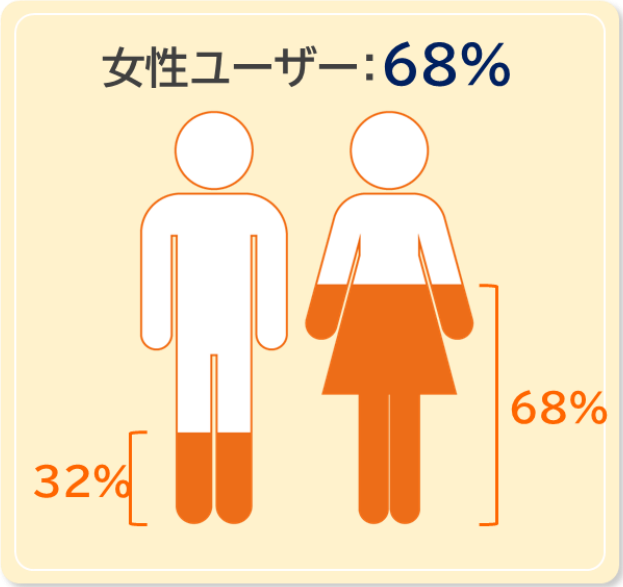
交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

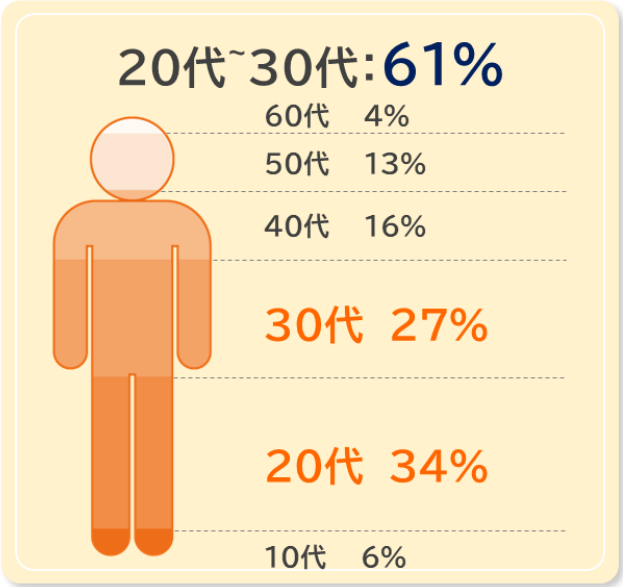
事例：愛・地球博記念公園に来訪したユーザを分析

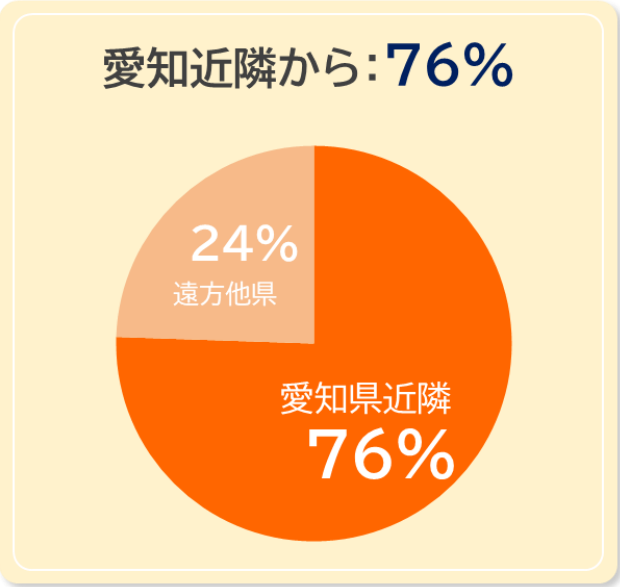
人流分析による結果

分析対象　愛・地球博記念公園に来訪した人流データの属性情報を分析

結果
- 来訪ユーザの特徴として、**約7割が女性**であり、**20－30代が6割**を占める
- また**愛知近隣からの来訪ユーザが76%**であり、遠方他県からは24%であることが判明
  ※愛知近隣：愛知県、岐阜県、三重県







交通に関する人流分析・意識調査の取り組み事例

事例：愛・地球博記念公園に来訪したユーザを分析

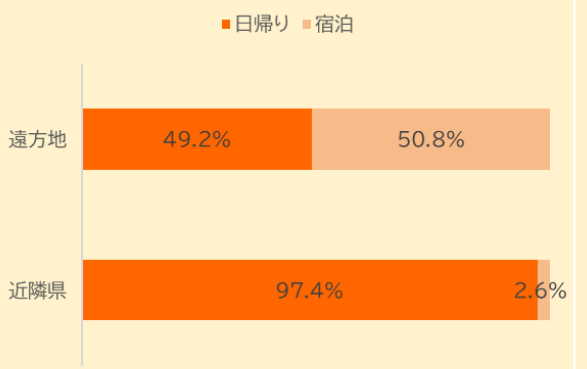
・Geo-Research による分析結果

分析対象　来訪ユーザに対し、11月19日からアンケートを配信、435件回収

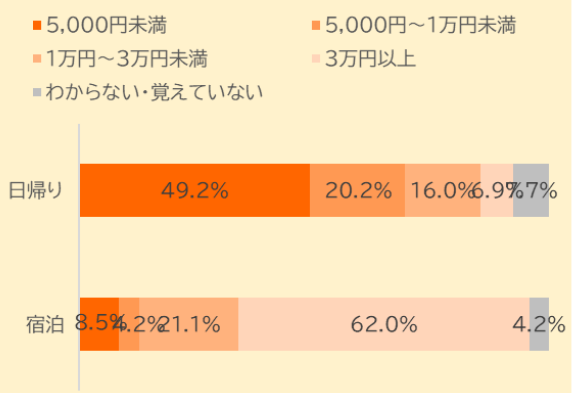
結果

- 日帰り/宿泊：愛知近隣からの訪問者は97%が日帰り、**遠方他県では5割が宿泊**していた
- 旅程中の消費額：**日帰りは約5割が5千円未満、宿泊は約6割が3万円以上の消費**であった
- 来訪ユーザの**興味関心：1位が国内旅行**、2位がグルメ・外食、その他エンタメ関連が上位

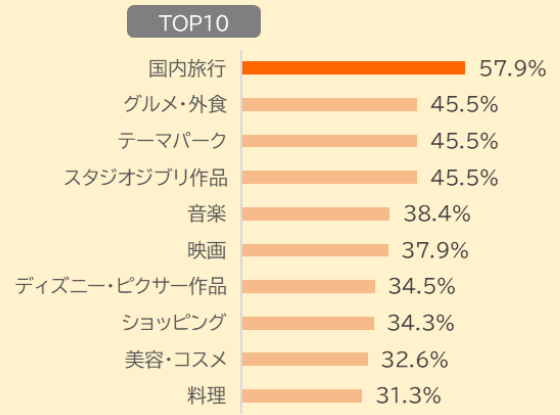
遠方他県でも日帰り5割



日帰りの5割が5千円未満



興味関心では6割が国内旅行



➡ **分析後、観光プロモーション施策に反映**

千葉市 CHIBA CITY 千葉開府 Road to 900

BUSINESS DESIGN PARTNER

TMJ　モビリティビジネス専門センター Mobilish®のご紹介

株式会社TMJ　｜　2024.10.3

TMJ　会社紹介

株式会社TMJについて

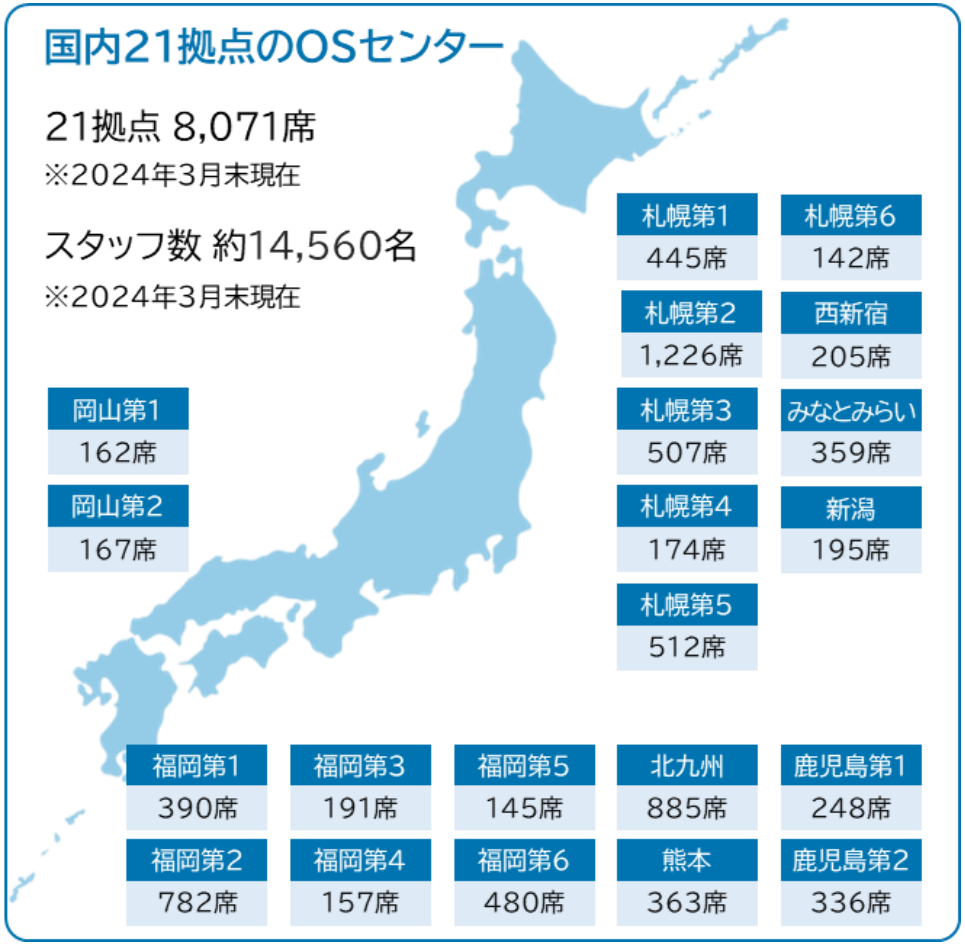
当社は1992年に、ベネッセコーポレーションより分社独立した総合的なBPOパートナーです。
クライアントの事業を自社の事業と想い、託された仕事の品質と生産性を真摯に追求し続けています。

会社名	株式会社TMJ
本社	東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル
株主	セコム株式会社　100%
設立	1992年4月1日
社員数	従業員数　2,840名（職種・地域限定正社員を含む） センタースタッフ　約14,560名　*2024年3月末現在
拠点	東京、札幌、仙台、多摩、横浜、名古屋、新潟、大阪、岡山、北九州、福岡、熊本、鹿児島 【グループ】マニラ
売上高	グループ売上高　559億円（2023年度）
事業内容	コンタクトセンターの運営/人材派遣、企画・分析 コンタクトセンター周辺業務のアウトソーシングサービス バックオフィスのアウトソーシングサービス

国内21拠点のOSセンター

21拠点 8,071席
※2024年3月末現在

スタッフ数 約14,560名
※2024年3月末現在



TMJが提供するサービス

TMJが提供する　3つの主要サービス

BUSINESS PROCESS Design & Consulting

CXデザイン
ユーザー行動を定量・定性データをもとに検証し、コンタクトポイントの設計・再構築を提案します。

BPOデザイン
企業活動における業務プロセスの課題に対し、業務設計、人材、システム活用で解決へと導きます。

調査・分析
カスタマージャーニー、NPS、顧客満足度、業務量調査など業務設計に必要な調査・分析を行います。

人材育成・研修
結果を求める人材育成プログラムで、センター運営を支える高度なスキル人材を安定的に供給します。

CONTACT Design & Outsourcing

構 築 × 運 用 × 改 善

カスタマーケア
お客様との対話を通じたサポートにおいて高い顧客満足を実現し、企業の収益向上に貢献します。

テクニカルサポート
IT機器からオンラインサービスまで、お客様の技術的な問い合わせをサポートし、解決へと導きます。

ナレッジマネジメント
電話、チャット、FAQ、Webなど多様なチャネルを集約し、再設計を行なった上で円滑に運用します。

セールスサポート
新規顧客獲得、既存顧客の休眠復活、入電からの販売促進など販売機会創出や売上拡大につなげます。

多言語コンタクトセンター
外国語対応窓口として、各言語に特化したオペレータがお客様との円滑なコミュニケーションを行います。

高齢者コミュニケーション
高齢者の聞こえ方、伝わり方、応対者の評価・育成など高齢者応対の品質向上にかかる研究に取り組んでいます。

FAQ ・ SMS ・ チャットボット ・ WEBサイト

WORK Design & Outsourcing

部 門 × 業 務 × 工 程

営業事務代行
見積書作成や資料準備などの事務作業を代行し、セールスに集中できる環境づくりを支援します。

採用代行
求人情報の管理や履歴書・経歴書のデータ化、面接日時の設定など採用業務を代行します。

RPAサービス
RPAの導入に必要な対象業務の選定、再設計から開発、運用まで一気通貫で手厚くサポートします。

社内ヘルプデスク
人事、総務、IT部門に集まる社員からの問い合わせを集約し、安定的なサポート運営を実現します。

AIテキスト分類
機械学習を活用し、大量テキストを自動分類。データの前処理、設定、加工までトータルでサポートします。

人材派遣
独自の採用ノウハウと精緻なポテンシャル診断をフル活用し、最適な人材供給を実現します。

集約化 ・ 効率化 ・ 自動化 ・ セキュア化

モビリティビジネス専門センター Mobilish® ご紹介

私達が目指す事

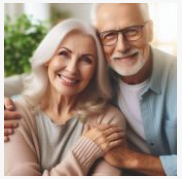
私達は、モビリティビジネス専門のBPOサービスを通じて
新領域のモビリティビジネスの発展と暮らしやすい社会創りに貢献

モビリティ関連事業者様

お客様の声を分析・フィードバック
より良いサービスの創りに貢献
コスト最適化の追求

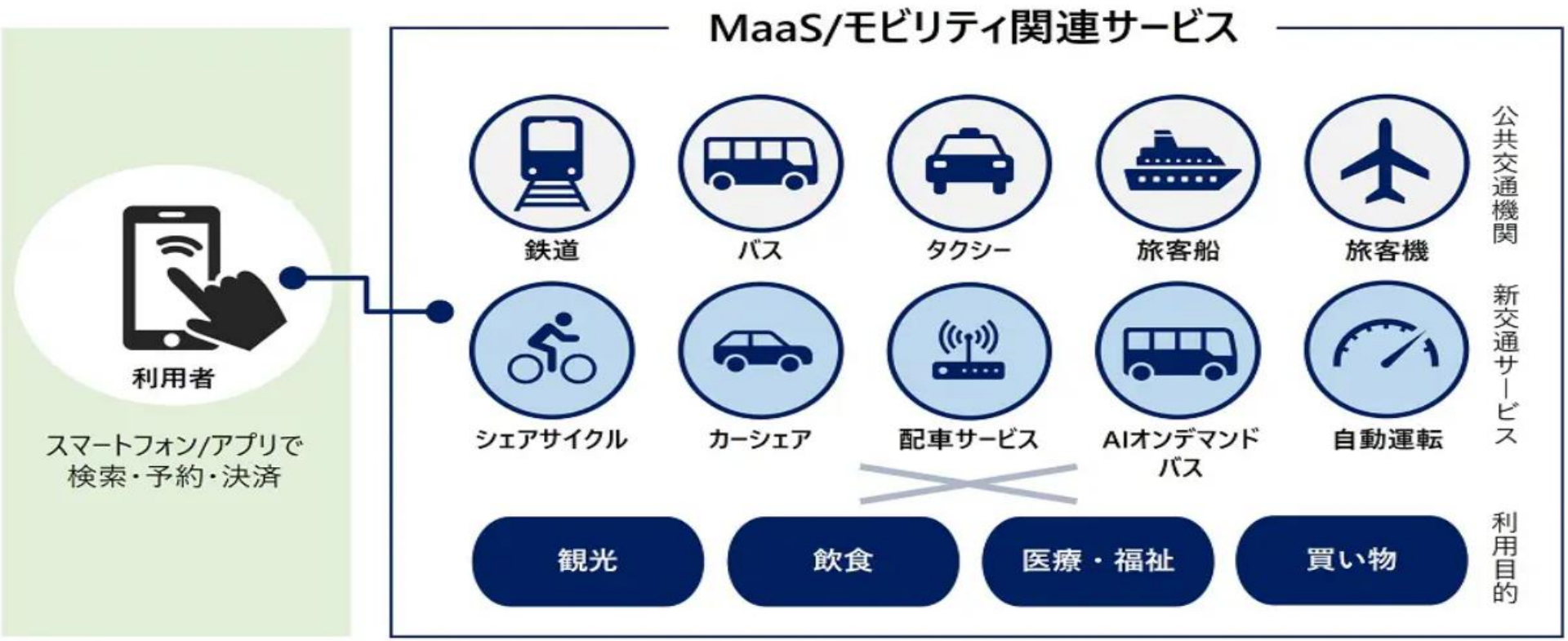
サービス利用者様

安全・安心で、快適にサービスを　利
用出来るサービスの提供



モビリティビジネス専門センター Mobilish®

2021年　モビリティ関連の受託サービスを１つのセンターに集約
モビリティビジネスに特化した専門のBPOセンター**「Mobilish(モビリッシュ)」**を開設
モビリティビジネスの豊富な運用知見を活かし、様々なモビリティサービスに対応が可能



モビリティビジネス専門センター Mobilish®

導入社数

23社

受託業務数

34業務

基本情報

■所在地■　札幌市中央区北三条西4-1　D-LIFEPLACE 札幌
■アクセス■　JR札幌駅より徒歩4分
札幌市営地下鉄 南北線 さっぽろ駅より徒歩1分
札幌駅前通地下歩行空間［チ･カ･ホ］直結
■開設■　2023年8月
■その他■　合計：556ブース　（席）
Mobilish：合計　180ブース（席）

受託サービス

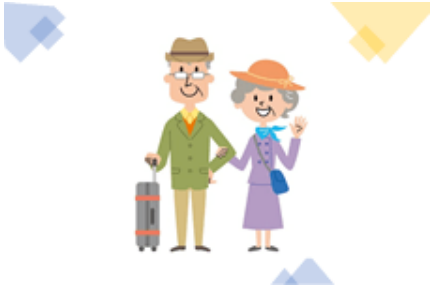
- シェアサイクル
- カーシェア
- タクシー配車
- 駐車場
- オンデマンドバス
- EV自動車
- EV充電スタンド
- ALCチェック
- 車載通信

MObilish®センターの特徴

専用のセンター
業界大手企業、自動車メーカー等、多くのモビリティサービスの運用経験とノウハウが集約されたセンターです。

24時間365日対応
24時間365日対応だから、緊急性の高いお客様からの問合せに対しても、即時対応が可能です。

シェアードによる低コスト運用
他のモビリティ業務のオペレーターをシェアードで配置し、低コスト運用が可能です。兼務先も類似サービスのため、品質は低下しません。



高齢者対応のノウハウ
TMJでは2011年から「超高齢社会におけるコンタクトセンターのあり方」の研究を続けており、高齢者の聴こえ方、話し方の工夫などのノウハウを蓄積

業務設計・運用力
サービス新規立上や運用が確立されていない業務でも、多種多様な運用知見をもとに業務設計・標準化、運用まで対応可能

DX推進　マルチチャネル対応
電話、メール、チャット＆ボット、ボイスボットなど利用者の利便性に合わせたチャネル提供が可能です。また、AIやツールを活用したDXにも対応

Mobilish® 提供可能なサービス

モビリティ対応に特化したカスタマサービス

- 電話・メール チャット＆ボット
- サービスの使い方
- テクサポ
- 繁閑対応
- 事故・トラブル対応
- 高齢者対応
- 料金請求関連
- アルコールチェック代行
- デマンド交通予約受付
- 配車受付

eKYC対応や高難易度業務も柔軟に対応

- e-KYC
- ドラレコ映像確認
- 車両修理判断
- 運行監視
- 決済・精算処理
- アンケート送付・回収
- 書類回収・発送
- ICカード書き込み（FeliCa等）
- 会員サイト向け お知らせ管理

コールセンター

バックオフィス

Mobilish®

コンサルティング

デジタルソリューション

- CC運用設計
- バックオフィス運用設計
- webFAQ分析ツール導入支援
- チャット/ボイスボット導入支援
- 関係事業者連携
- 呼量削減
- マニュアル類作成
- 運用改善

ノウハウを事業・オペレーション改善に提供

- 本人確認審査自動化
- VOC　AI分析
- UI改変ツール
- 感情解析
- SNS分析
- バックオフィス工数計測
- AI-OCR×RPA事務業務自動化
- e-KYCシステム

自動化・効率化や事業改善をサポート

高齢者対応

超高齢化社会に備え、高齢者対応のあり方に関して、早期に取り組んで参りました

【TMJの超高齢社会への取り組み】
TMJは、東京大学産学ネットワーク「ジェロントロジー(老年学)」へ2011年から参画し、高齢社会でのコンタクトセンターのあり方について研究を続けております。
研究テーマは高齢者の特性を踏まえた「高齢者応対方法」「対応人材育成」「対応品質管理方法」などです。

【研究成果を基にした新たなサービスの開発・提供】
この研究を通じて蓄積したノウハウ・研究成果を基に、高齢者対応に特化した商品開発やプログラム化した研修メニューを構築し、高齢のお客様の満足度向上のために活用しています。

【商品開発】
タブレット型模擬音声シミュレーションツール『ジェロトーク』

自身の声を吹き込むと、模擬音声に変換され、加齢による聞こえの衰えを体感できるシミュレーション機能を搭載したタブレットツールです。

専用研修メニュー開発
高齢者との円滑なコミュニケーション、応対スキル向上に特化した研修メニュー

研修で得られる知識・スキル
- 高齢者の聞こえ方や聞き間違えられやすい言葉に対する理解
- 高齢者とのスムーズで効率的な会話スキルの習得

スムーズな会話で顧客満足度の向上

例）言語の置き換え
・世代間ごとの共通言語を考慮
　× A４サイズ　⇒　○新聞紙を四つ折り半
・色覚の低下を考慮
　× 黄色のボタン　⇒　○上から２つめの丸いボタン

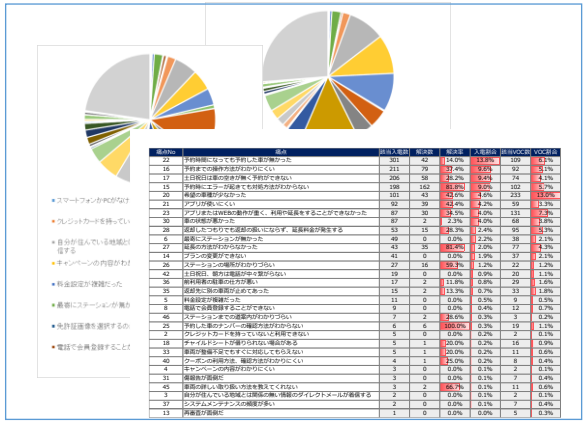
MObilish®の特徴　クローズアップ紹介②

VOCの取り組み

TMJでは、VOCの収集・分析・活用を行い、クライアントサービスへの改善提案や
オペレーション改善による品質向上に努めています。

サービス1：VOCデータ

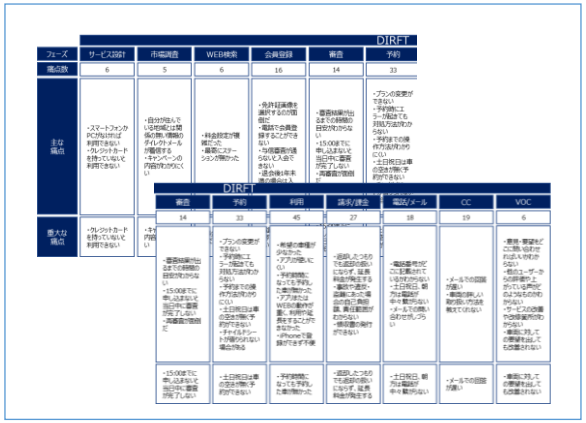
**VOCの収集・分析による
課題の可視化**
（Voice of Customer）



VOCの可視化・分析により、サービスに対して
の顧客満足・不満が見える化します。
これにより、サービスをどう改善すべきかの
打ち手が見えてきます。

サービス2：カスタマージャーニーマップ

**サービス上の顧客離反ポイント
（=痛点）の特定/対策**



サービス利用顧客の感情遷移を可視化
サービス認知から利用完了までの痛点を洗
い出すことで、プロセス毎に対策を取る事が
可能になり、離反が防止できます。

サービス3：個社サービス独自の品質設計

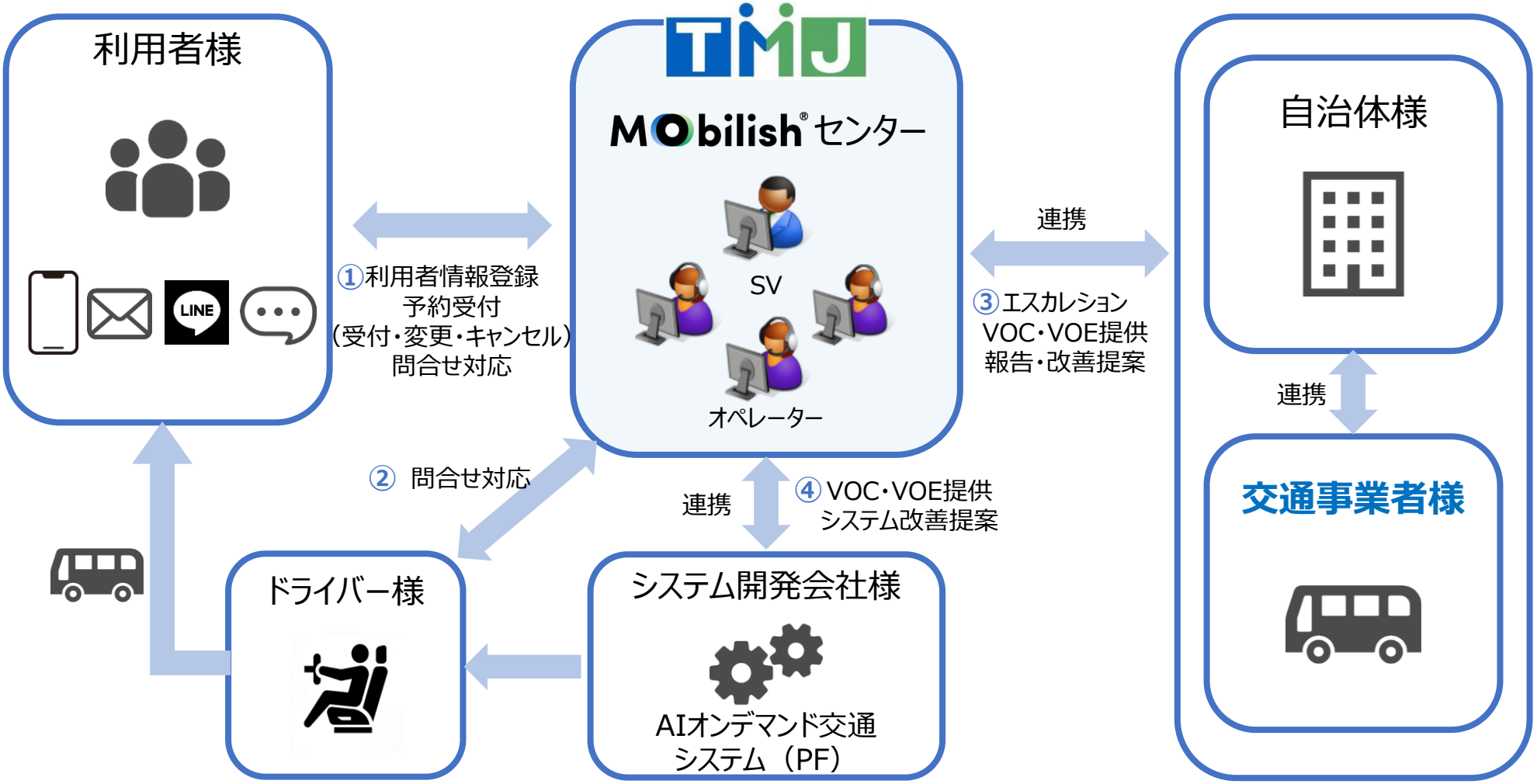
**品質定義付けと教育実施による
顧客離反防止・ファン創出**

特定した痛点毎に専用の応対研修資料
および専用評価基準を設計
設計を基に継続的なトレーニングを実施
サービスの継続利用を向上する応対を実現

提供サービス　オンデマンド交通サポートサービス

サービス概要

利用者様からの予約受付や問合せ対応及び、ドライバー様からの問合せまで対応
サービス利用者様やオペレータの声などを収集・分析し、サービス改善提案を行います。



Appendix.

石狩市様

石狩市様、交通事業者様、PF様、TMJが共同で実施するオンデマンド交通の実証実験
TMJのモビリティサービスの運用知見を活かし、運用設計から立上げ、運用迄をサポート

実証事業概要

石狩湾新港地域への通勤を目的とした「通勤オンデマンド交通」と、市街地内の移動を目的とした「市内オンデマンド交通」の二つのサービスを展開。どちらのサービスも同一の「いつモ」アプリから利用が可能な実証事業となっております。

社名	役割
石狩市	実施主体、地域公共交通活性化協議会の運営
中央バス	オンデマンド交通の運行
ダイコク交通	オンデマンド交通の運行
三和交通	オンデマンド交通の運行
団連	石狩湾新港地域立地企業に関する情報提供
丸紅	オンデマンド交通システムの提供、全体計画・事業計画の策定
Moovit	オンデマンド交通システムの提供
TMJ	カスタマーセンターの運営

モビリティ事業者向け情報サイト Mobilish®

千葉市 CHIBA CITY 千葉開府 Road to 900

業界ニュース、お役立ち情報、Mobilishの取り組みをご紹介
業界発展のための情報発信に取り組んでおります

https://mobilish.tmj.jp

複数の移動サービスを一元化し、検索、予約、決済を提供するMaaS、また、カーシェア、シェアバイク等のモビリティサービスにおいては、満足度の高い顧客体験が普及のカギとなります。

そこで、当社はサービス利用者にとって、シンプルで分かりやすく、安全・安心で快適に利用できるよう、モビリティビジネス専門のコンタクトセンターを立ち上げました。

当社の持つ多数のモビリティサービス運用経験・ノウハウを活かし、モビリティビジネスの成功と普及に貢献すべく、事業者様向けの情報サイト「Mobilish」を立ち上げました。

モビリティ関連ニュース	モビリティ関連した企業の最新動向や業界のトピックを紹介します 自動車新聞社様のLIGAREからの情報、独自取材記事を発信します。
お役立ち情報	取材記事、調査資料、ベストプラクティスなど 事業者様の取り組み、サービス利用者様の声をお届けします。
Mobilishからお知らせ	モビリティ専門のコンタクトセンターより情報発信 ご利用者様対応を分かりやすく動画でご紹介します。

たゆまぬ対話と改善で
誰もが暮らしやすい社会を創る

Creating Client Value	with your style

【問合せ先】
情通サービス営業本部
MaaS/モビリティ業界推進担当
小柏（おがしわ）
TEL：080-9815-3639　Mail：yogashiwa@tmj.jp

打瀬中学校区町内自治会連絡協議会
(幕張ベイタウン自治会連合会)
グリーンスローモビリティの実証調査について

2024年10月3日

幕張ベイタウン自治会連合会
幕張ベイ・グリスロプラス

伝えたいこと(サマリー)

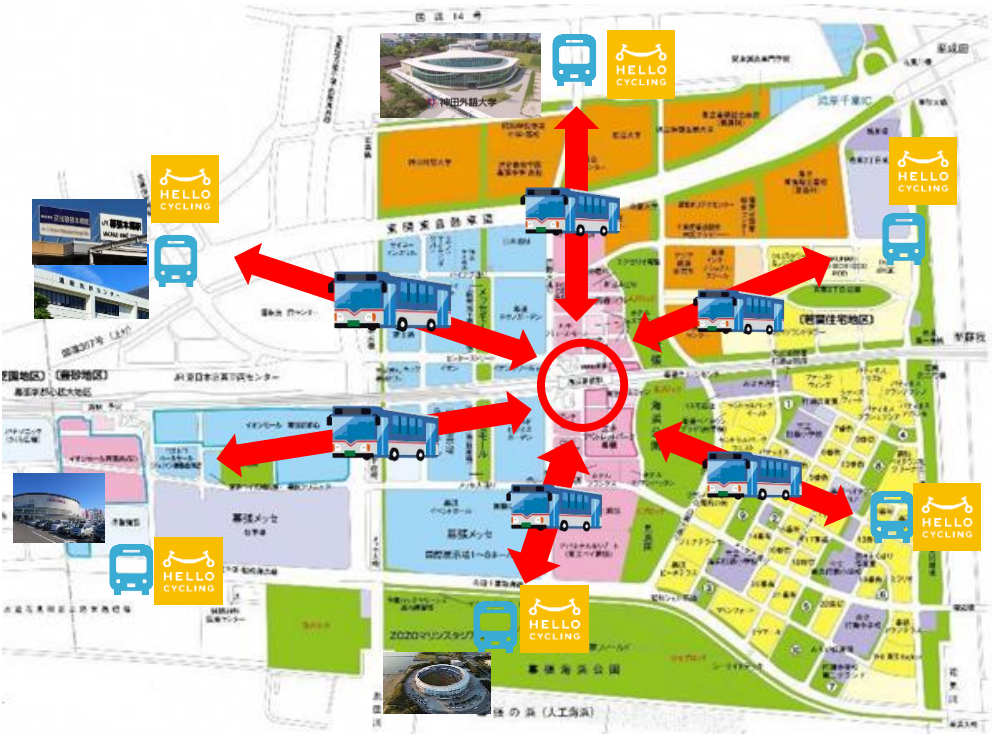
- 幕張ベイタウン・ベイパークにて
  グリーンスローモビリティの**実証調査中(9～11月)**
- 当初目的は、交通弱者、フレイル予防への貢献
- 住民ボランティア**60名**でシフト運行中
- 今年度の実証調査で累計**1,064名**※が乗車
- 幕張新都心の住宅地区の交通課題を踏まえ
  次年度以降の本格運用検討の試行段階
- **自動運転技術等との親和性が高い**

※2024年10月2日走行後集計

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

幕張新都心 住宅地域の交通課題

幕張新都心の回遊性課題、その解決策は地域から始まる



打瀬・若葉地区内を互いに行き来する交通手段は徒歩と自転車、イオンのお買い物バスに限定

【課題】

- **住民の回遊性不足**
  海浜幕張駅からランドマークへのバス便はあるが、地域を横断する巡回手段が不足
- **交通弱者に配慮した移動手段の欠如**
  シェアサイクルは導入されているが、**子ども・高齢者・妊婦・からだの不自由な方**には利用が難しい

【解決策：グリーンスローモビリティの導入】

- 柔軟なルート変更で、**交通弱者にも対応**
- **誰もが安心して利用できる移動手段**
- 地域コミュニティの**Well-beingを促進**する近距離の新しい移動インフラとしての期待

【効果】

- 地域内の自由な回遊を可能にし、**生活の質を向上**
- 多様な世代や背景を持つ住民が利用でき、**コミュニティの一体感**を強化

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

地域特性・課題を踏まえた「支え合い交通」への一環

BAYTOWN 幕張ベイタウン自治会連合会

- **“支え合い交通”**の導入検討にあたっては、地域の状況を踏まえるとともに、多様な移動手段を検討し、それぞれの移動手段の特性等も考慮し、地域にとって最適かつ持続可能な移動手段の導入を考えます。（下記は一例）

この役割を代替検証

出典：国土交通省

デマンド交通

メリット
- 予約に応じた運行のため効率的な運行が可能（予約型の場合）
- 乗合輸送により、地域の外出機会がまとまることで、曜日や時間を限定した運行が可能

デメリット
- 事前予約が必要（予約型の場合）
- 乗合輸送のため、利用者が多い場合は所要時間がかかる

地域を特定した運行

グリーンスローモビリティ

メリット
- 環境への負荷が少ない
- 狭い道路の通行も可能
- 車内外の人とのコミュニケーションがとりやすい
- 地域運行が可能（住民が運転手）

デメリット
- 低速であり距離の長い運行は適さない
- 雨風や寒暖への対策必要

出典：国土交通省

病院・商業施設等の送迎サービス

メリット
- 地域に潜在する輸送資源の活用により、効率的な運行が可能

デメリット
- 目的地が固定のため、通院や買い物以外の目的の場合の二次交通の確保が必要
- 関係者の協力体制の構築が必要

利用者を特定した運行

出典：国土交通省

福祉有償運送

一人では公共交通を利用することが困難な移動制約者に対して、個別輸送サービスを提供する福祉輸送

買物支援サービス

地域の高齢化などによる、買い物困難者に対し、社会福祉法人が「地域における公益的な取組」として実施

出典：千葉市社会福祉協議会

- 支え合い交通以外にも、公共交通の補完が期待されるシェアサイクルのほか、電動キックボードや次世代型パーソナルモビリティなども含め、基本的に個人が所有する移動モードのシェアサービスの導入についても検討も進めています。

シェアサイクル

電動キックボード

次世代型パーソナルモビリティ

千葉市HP千葉市地域公共交通計画の概要から抜粋
https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/documents/mobility-plan.pdf

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

千葉市導入のグリーンスローモビリティ

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

導入している車両はこちらです！
コンパクト！　エコ！　視認性良好！

ゴルフカート型

●普通自動車運転免許にて運転可能

※無償運行のため二種免許不要

●運転補助の方は免許がなくても参加可能

千葉市HP グリーンスローモビリティの活用から抜粋
https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/documents/gurisurochibapo.pdf

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

取り組みの推移

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

グリスロを通じて住みやすいWell-beingな街づくりを目指し
地域の回遊性や住民同士の交流を促進

2022年度：千葉市グリスロ実証調査の開始

- 千葉市と協力し、幕張新都心住宅地区の**ルート回遊性を検証**
- 他地域の視察を実施

2023年度：「グリスロを考える」から「グリスロの価値にプラス」へ

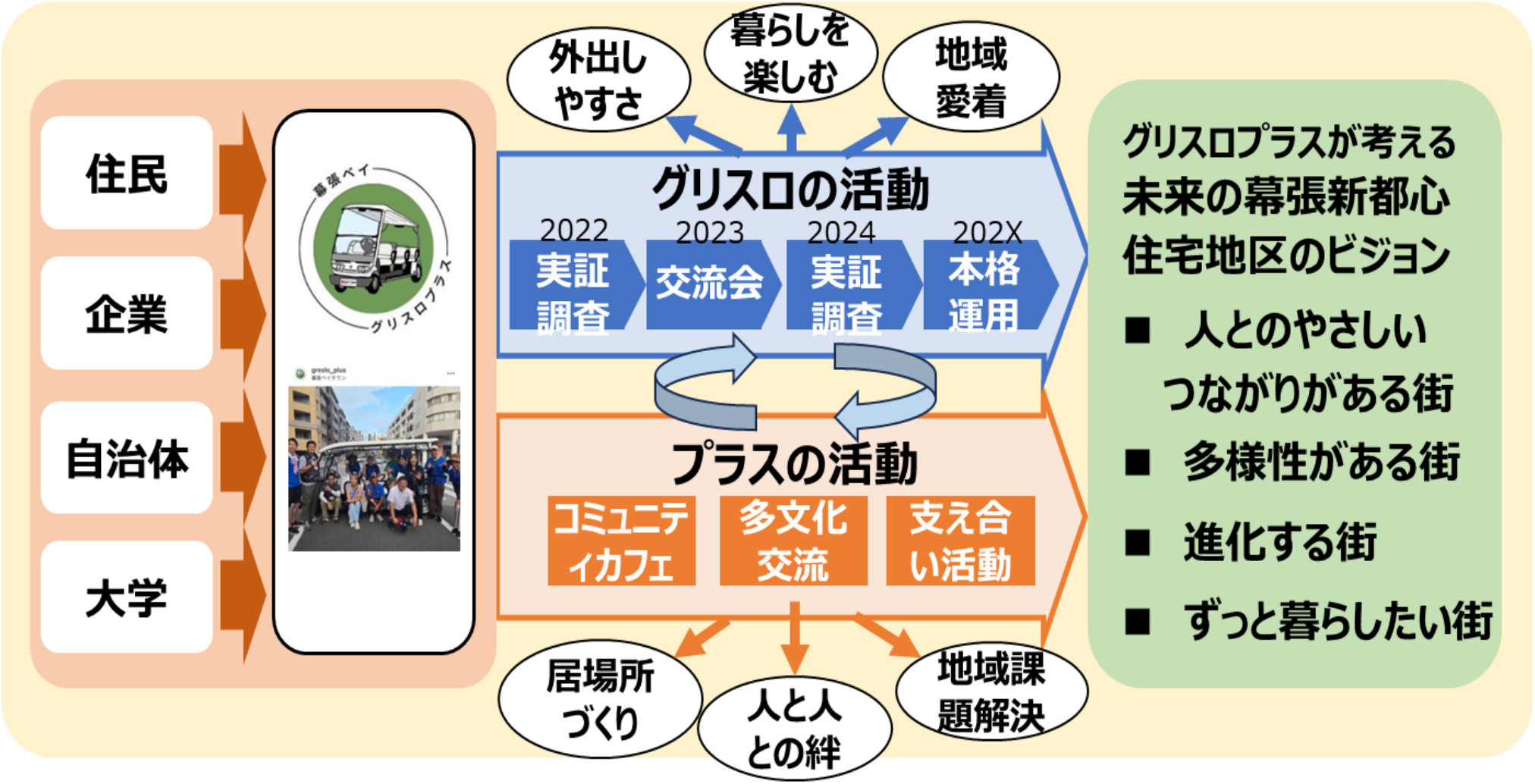
- NTT社会情報研究所と協力し、**Well-beingを目指す地域作り**
- 住民が参加し、グリスロの回遊ルートを創造し、Well-beingを体感
- **外出支援やコミュニケーション促進**を通じて、住みやすい街づくりを推進
- **地域の魅力を再発見**し、高齢者や認知症の方々も安心して暮らせる街を目指す
- 多世代・多文化交流の場として、住民の「居場所」を提供
- 日大生産工学部の人間中心デザイン専門家、ゼミ生が参加し、多様なニーズに応える

2024年度：Well-beingな街づくりに向けて

- 商店街との連携を強化（2月にベイタウン朝市でグリスロを展示）
- 第2次千葉市グリスロ実証調査を開始、住民の視点でボランティア参加を促進
- **千葉市・企業・大学・住民の協力モデルを模索**、創発、展開し、Well-beingな地域作りを進行
- ベイタウン夏祭りで愛称の公募「ベイ太くん」

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

グリスロプラスの活動の構図



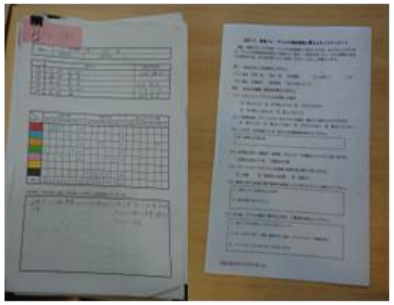
© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

NTT社会情報研究所・各大学との共創

BAYTOWN 幕張ベイタウン自治会連合会

グリスロプラスの活動への参加

- 2022年度 実証調査（運営、質問紙調査）

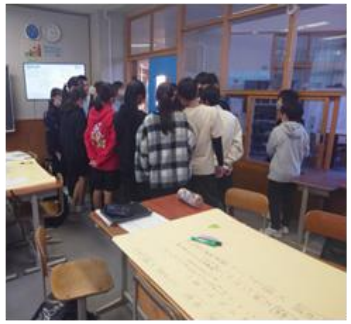


- 2023年度 月例の交流会

- にほんごでの多文化交流会の立ち上げ支援
- 幕張ベイパークワークショップ

Well-beingの考え方の普及、啓発

- 打瀬中学校EX講座「ウェルビーイングについて考えよう」



- しあわせ屋台 (ベイタウンまつり春・夏)

NTT rockin'on begin.continue 日本大学生産工学部 淑徳大学

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

大学から見たグリスロプラスの価値創出

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

■ これほどの規模のプロジェクトを住民主導で進めているケースは珍しい

学術的価値

- 住民主導型「リビングラボ」の好事例
- デザインプロセス
- プロジェクトの持続性
- 地域特性
- 他地域への知見の展開

幕張ベイ・
グリスロプラス

教育的価値

- **共創デザインの実践**
- アクティブリサーチ／デザインリサーチを学ぶ場
- デザイン人材の育成
- デザインスキルの試行

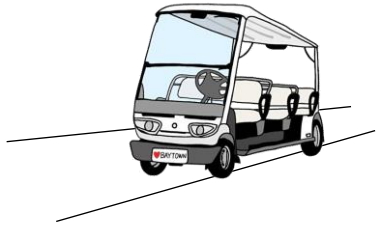
Copyright 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 2023

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

『想いを形に』

1 参加者同士の価値観の共有

2 Well-beingな地域づくりに貢献する
グリスロ運行イメージの具体化（ルートマップ）



3 全員で「未来の幕張新都心の住宅地区のあってほしい姿」を
グリスロプラスのビジョンとして形にする

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

Well-beingな地域づくりに貢献するグリスロ

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

行きたい！会いたい！楽しみたい！

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

誰もが安心して移動できる街へ、グリスロが道を拓く

BAYTOWN 幕張ベイタウン自治会連合会

柔軟なルート設計で交通弱者にも優しい移動手段を提供し、コミュニティ全体のWell-beingを実現

お買物・病院循環

打瀬若葉往復

例えばこんなふうに利用してみませんか

行きは運動のために歩いてお買い物へ。

帰りはグリスロに荷物を載せてゆったりと。

お散歩してるけど、長くは歩けないからいつも同じコースばかり…そんな方は、グリスロに乗って移動すれば普段歩かない公園や海の景色を楽しめます♪

引っ越してきたばかりで、街のことをよく知らなくて…そんな方はグリスロスタッフが街をご案内します♪お友達や家族で街めぐりもおすすめです！

コース内は乗降り自由！何回乗っても料金無料！

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

グリスロの活動へのボランティアの担い手

住民・学生ボランティア60名でシフト運行中

運転手
- 運転講習会
- 安全講習会

乗客モニターとして
- 買い物体験
- イベント参加
- 覆面調査

スタッフ
- 運行管理

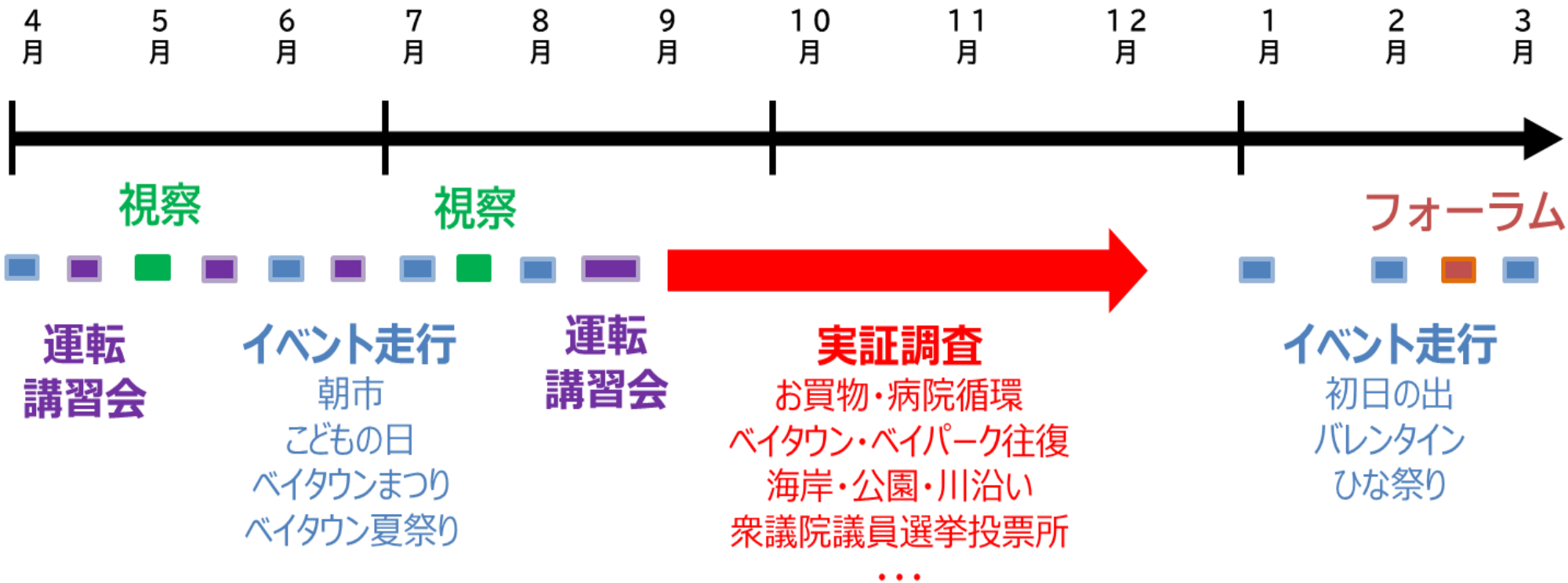
添乗員
- 乗車の補助
- 街の案内

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

2024年実証調査のスケジュール

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

2024年9月開始の実証調査にて走行距離1,000㎞ 累計1,064名※が乗車体験



※測定期間　2024年9月1日～10月2日走行後の集計

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

グリスロと次世代モビリティの未来展望

BAYTOWN 幕張ベイタウン自治会連合会

地域密着のスモールスタートから、次世代モビリティとの融合へ

グリスロと次世代運転技術を連携させ、幕張新都心の課題を解決、住みやすい未来を創造する

住民の日常生活を支えるスモールスタート

交通弱者に優しい地域密着型の移動手段として回遊性を向上

次世代運転技術との融合

自動運転技術が地域課題にどう貢献できるか
（例：交通弱者のサポート、回遊性の向上）
コンソーシアムの実証調査と地域との連携を深め
スケールアップ、マネタイズの可能性を探りたい

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

11月まで実証調査を行っております。ぜひ、幕張住宅地区でグリスロに乗り、実際に体験していただければと思います。皆さまのご参加をお待ちしております

ベイタウン内をグリスロで走ってみた(20km)

https://www.instagram.com/reel/C8Z1pgGhncX/?igsh=MWJ0bHcxMmQ1cnlpdg==

【＃マククリニュース】
令和4年11月13日『グリーンスローモビリティ実証調査』

https://www.youtube.com/watch?v=uY82ulQShfY

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

APPENDIX

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

打瀬中学校区町内自治会連絡協議会(幕張ベイタウン自治会連合会)

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

住民 9千世帯 27千人

- 会長
- 単位自治会・管理組合(会員)※
- 監事
- 顧問
- 事務局
- 地域活性化推進(未組織)
  - ・子ども円卓会議
  - ・部活動の地域移行化検討
- 美浜区支え合いのまち推進協議会
- 明るい選挙推進協議会
- 千葉県国勢調査事務(2025年度)

【賛助会員】

610地区民生委員・児童委員協議会(含む若葉地区)

打瀬中学校区青少年育成委員会(含む若葉地区)

社協打瀬地区部会

幕張ベイタウン商店街振興組合

打瀬地区スポーツ振興会(含む若葉地区)

【連携組織】

幕張ベイタウン地域運営委員会

幕張ベイタウン協議会

ベイタウンニュース

避難所運営委員会(ミラー組織)

塗りつぶしが打瀬・若葉共通

※ 単位自治会(管理組合)は31団体

常設委員会

- 防災委員会
  - 避難所運営委員会
    - 制度上ミラー組織
- 広報委員会
- 防犯委員会
  - 千葉西警察防犯協会
  - ﾃﾛﾈｯﾄﾜｰｸ対策推進会議
- 交通委員会
  - 千葉市戦略特区 幕張新都心モビリテイコンソーシアム
- イベント委員会
  - ベイタウンまつり実行委員会
- 環境・美化委員会
  - 区民ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実行委員会
  - 千葉市を美しくする会
  - 千葉市ごみ問題対策会議

特別委員会

- ベイタウン女子部
- ベイタウンにエコパークをつくる会
- ベイタウングリーンサム
- 菜の花クラブ
- 三丁目公園管理運営委員会
- 打瀬第3公園「風のガーデンの会」
- ピアノ委員会
- 幕張ベイ・グリスロプラス
  - 千葉市グリスロ実証調査

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

今後の主なイベント

BAYTOWN
幕張ベイタウン自治会連合会

分類	項目	日程	内容
教育・文化活動	こども円卓会議	全5回	打瀬中生徒会がファシリテータとして、打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小の高学年代表と 住みよい地域づくりについて協議
	こどもまち歩き クリーン作戦	11月9日(土) 予定	2022年　幕張の浜ビーチクリーン、JFA夢フィールド 2023年　幕張海浜公園、幕張メッセ視察　(吉本芸人出演) 2024年　11月9日　QVC見学予定
	打瀬中EX講座	11月21日(木)～22日(金)	地域貢献や地域課題を打瀬中学校1年生に開講(10講座) 千葉市やJICA、千葉西警察、福祉協議会等
	もちつき大会	1月11日(土)	青少年育成委員会主催
イベント・スポーツ	9都市合同防災訓練	9月1日(日)中止	千葉市会場実働訓練(2024年度イオンモール幕張新都心)
	ソフトボール大会	10月13日(日)	磯辺スポーツセンター　昨年は優勝、準優勝とも若葉地区
	美浜区民フェスティバル	10月6日(日)	稲毛海浜公園、打瀬中吹奏楽部出演、地域から15名支援
	B-Pamウェルカムパーティ	11月予定	若葉地区に新しい街区、新たに入居とした住民向けの歓迎会
	マラソン大会	12月15日(日)	スポーツ振興会主催、JFA夢フィールドにて実施
	幕張スイス・マーケット	12月14日(土)～15日(日)	千葉市、幕張メッセ、三井アウトレット、スイス大使館と共催 メッセ国際会議場にて、地域住民文化活動の発表を予定
その他	部活動の地域移行化	9月～4月まで	打瀬中剣道部、演劇部の地域移行実証調査への協力
	投票所開設・運営	10月26～27日	衆議院選挙10月27日、千葉県知事・千葉市長 3～4月
	国勢調査	2025年10月1日	5年毎の調査、6ヶ月前に国勢調査員の推薦依頼が届く

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

乗車人数・走行距離

© 2024 幕張ベイタウン自治会連合会. All Rights Reserved.

（3）2024年度千葉市事業

デジタルツインを活用した自動運転事業

これまでの千葉市の自動運転に係る取組み

- 2016年1月に国家戦略特区に指定
  - ➢ ドローンや自動運転等の実証やビジネスモデルの創出に向けた取組みを推進することを提案
- 産官学の連携として、「幕張新都心モビリティコンソーシアム」を立ち上げ
- 実証実験：計5回実施（2018～23年）

自動運転の社会実装に向けた課題

（1）マネタイズ	黒字化に向けてサービスモデル検討
（2）実運用の壁	具体的な運行内容の検討 （バス停やバスダイヤの調整など運行面や、利用者満足度とコストをバランスなど）
（3）安全性担保	技術的課題
	運行計画の設定 （交通量が多いときの対応、どういう場面で自動運転レベル4で走行するか等） ⇒警察等から、より安全性を求められる ⇒**実際の環境では、十分な技術検証をに行うことができない**

自治体での取組みは日本初！

デジタルツインを活用したバーチャル実証の導入により課題解決を推進

- **現実世界では出来ない運行計画でバーチャル実証を実施**
  - ➢ デジタルツイン上では様々な走行条件や車両パラメータを簡単に可変させた実証実験の繰り返しが可能

現実世界で獲得が難しい経験値を、バーチャル環境で獲得

- **現実世界で出来なかった（警察から許可が出なかった）運行計画の内容での現実空間での実証に繋げる**
- **１０月以降、バーチャル環境でのシミュレーション・安全性検証を実施**

2024年度事業

千葉市が行う事業について、国からの交付金が想定よりも大幅にカットされたことで調整を行い、以下のように整理しました。

2023年度当初予算	第7回総会時報告	現在（国費内示後）
パーソナルモビリティ 社会実装サポート事業 （補助率　2/3、補助上限　5,000千円）	未来技術モビリティ社会実装サポート事業 ①最先端モビリティサービス導入支援 （補助率　2/3、補助上限　11,000千円×1件） ②モビリティ連携システム等開発・導入支援 （補助率　2/3、補助上限　10,000千円×1件）	未来技術モビリティ社会実装サポート事業 ①最先端モビリティサービス導入支援 ②モビリティ連携システム等開発・導入支援 （補助率　2/3、補助上限　5,000千円×1件）
サービスロボット 社会実装サポート事業 （補助率　2/3、補助上限　6,000千円）		
幕張新都心版MaaS 社会実装サポート事業 （補助率　2/3、補助上限　20,000千円）		
自動運転車社会 実装サポート事業 （補助率　2/3、補助上限　21,000千円）	自動運転モビリティ実証委託 （74,000千円） ※国土交通省補助金（ 補助率10/10 ） 獲得を優先し、獲得した場合執行なし	自動運転モビリティ実証委託 （74,000千円） ※国土交通省補助金は獲得できなかったものの、デジタルツイン事業の範囲内で走行実証予定のため執行予定なし

デジタルツインを活用した
自動運転車サービス導入支援
（契約済み）

3　連絡事項

事務局（千葉市）

連絡事項

事務局からのアナウンスは以下の通り

1．資料の取扱い

- 本日の資料は、原則公表とさせていただきます（非公表のページは、千葉市ホームページに掲載する際に削除します。）。

2．議事要旨の確認

- 事務局にて案を作成し、各会員様の確認を経て、千葉市ホームページにて公表させていただきます。

3．2024年度の総会のスケジュール

- 来年２～３月に第８回総会を開催する予定です。

幕張新都心モビリティコンソーシアム
中間まとめ報告会

以上